



茂田 信三 議員

質問

市民のための市政を！

道の駅の運営に民間の実績とノウハウを導入する

茂田議員の質問動画



議員

先程の大澤議員の質問で、常総市民の利益はあるのか。道の駅をやらないのが一番良い。マイナスがないし、持ち出しの税金がない。五霞町長の話では、五霞町の道の駅は、第三セクター方式である。町が60%、民間が40%を出資し、代表取締役は町長である。町長曰く、私は命をかけて事業をやっている。何度も一般質問で聞いてきたことだが、責任の所在は行政ということは、税金である。なぜ、管理会社に丸投げをするのか。それならやらない方が良い。責任の所在がなく無責任である。

副市長

市ではノウハウが不足している。

議員

それでは、勉強をすれば良い。会社を興すことは、誰もが必死なのである。会社が倒産すれば、路頭に迷い全財産を失うのである。また五霞町では生鮮食品8%、それ以外は15%の手数料を頂いている。今度の五霞町の建物は、民間所有で、そこへテナントとして売り場が入り、固定資産税が入る。

何故そうしないのか。

アグリサイエンス巴厘推進チームマネージャー

ほかの道の駅で、運営実績が良かった民間事業者TTCを選定した。

議員

70万人、100万人来ると言っているが、増えるのはゴミだけである。建物が傷むだけで、儲かるのは管理会社だけである。何故、売上に対する手数料を取らないのか。市街地へ回遊させると言っているが、筑西市の道の駅では効果がないと聞いている。

副市長

まちナビカードや市内周遊体験窓口の設置、ECサイトの活用を検討している。

議員

そういうやり方では、プレハブで十分である。アグリ年間2億円の税収を一般会計に入れるとの約束が、それを道の駅に使うとは約束が違う。税金が市に入るから、アグリに賛成したのである。市報で維持費がかからないと書いてあったが、10数年に一度3億円のメンテナンスがかかるのではないのか。(日刊工業経済新聞より)



関 優嗣 議員

質問

不足する保育士確保をどうするか!!

現事業見直しも視野に検討する

関議員の質問動画



議員

当市における待機児童の現状を問う。

保健福祉部長

令和2年10月1日現在、0歳児5名、1歳児2名の7名である。

議員

それは、定員を満たしてしまっている状態からなのか、それとも保育士が不足しているからなのか問う。

ことも課長

一つの要因として一部の保育施設で、保育士が多少不足により、受入れ児童数を制限している現状もある。

議員

今後、保育士の確保のために取り組みもうとしている施策を問う。

保健福祉部長

保育士確保のための施策として、現在実施している市の単独事業の見直しも含め、保育士不足解消につながる事業や処遇改善に向けた施策も検討し、民間保育施設の代表の方から提案や要望を伺うなど、情報を共有できるように対話の場を作っていく。

さらに、市職員が出向いて当市

周辺に所在する保育士を養成する学校等と協議し、お知恵をいただくなどの取り組みについても検討していく考えである。

市内保育施設に勤務する保育士に対し、働きやすい環境を整え、保育士の離職防止を図るとともに、確保に向けた取り組みを実施し、市内保育体制の安定に寄与することに努める。

議員

未来への投資と考えれば、今渋るのではなく、思い切った決断をすることによって、10年後、20年後に活気のあるまちになっているこの選択の違いは、大きな違いになると思う。

ぜひとも明るく元気なまちが20年後、30年後、さらに先まで見られる常総市を目指して舵を切っていただきたいと思う。

